

## 第 3 次大田市総合計画における 基本理念・将来像・基本姿勢の検討

第 2 回審議会では、基本理念・将来像・基本姿勢の関係性や位置づけが分かりにくいのご意見や、人口減少対策や地域の持続性、安心して暮らし続けられる環境づくりなどを、より明確に示すべきではないかのご意見をいただきました。

これらのご意見を踏まえ、事務局ではまず基本構想全体の構造を再整理し、それぞれの役割を明確にしました。そのうえで、理念・将来像・基本姿勢の表現を見直すとともに、具体的な課題や視点については、基本方針や総合戦略など、それぞれに適した層で整理する考え方を明確にしました。

こうした整理の考え方を示したうえで、改めて基本理念・将来像・基本姿勢の案を提示するものです。

### 1. 基本理念・将来像・基本姿勢を掲げる理由・目的

#### (1) 基本理念・将来像・基本姿勢の位置づけ

本計画では、まちづくりの方向性を明確にするため、基本理念・将来像・基本姿勢の三層で整理します。それぞれは役割が異なり、互いに補完し合う関係にあります。基本理念は「目的」、将来像は「到達点」、基本姿勢は「進め方」として整理され、それぞれ異なる役割を担っています。

#### ■基本理念（WHY：なぜ、大田市はまちづくりを行うのか）

基本理念は、計画の目的・使命を示すものです。大田市がどのような価値観のもとでまちづくりを進めるのか、その根本的な考え方を明らかにします。将来像や具体的な施策の土台となる、最上位の考え方を示すものです。

#### ■将来像（WHAT：この計画で何を実現しようとするのか）

将来像は、計画期間の終わりに到達している状態を示すものです。基本理念で示した使命を踏まえ、8年後（令和14年度末）の大田市がどのような姿になっていることを目指すのかを描きます。市民と共有する「目指すまちの姿」を示す役割を担います。

#### ■基本姿勢（HOW：その実現に向けて、どのような姿勢でまちづくりを進めるのか）

基本姿勢は、将来像を実現するための進め方や考え方を示すものです。具体的な政策や取組を進める際の共通の姿勢を明らかにし、多様な主体が関わるまちづくりを進める上での基本的なスタンスを示します。

## (2) 基本理念・将来像・基本姿勢で整理する理由

第2回審議会では、将来像や基本理念の中に、人口減少対策や中山間地域の持続性、福祉や弱者への配慮など、より具体的な要素を明確に示すべきではないかとのご意見をいただきました。これらはいずれも、これからの大田市のまちづくりにおいて重要な視点であり、計画の中で適切に位置づけていく必要があります。

一方で、基本理念や将来像は、まちづくりの包括的な方向性を示す役割を担うものです。個別の課題や施策を直接的に表現するというよりも、大田市が何を大切にし、どのような状態を目指すのかという大きな枠組みを示すものです。

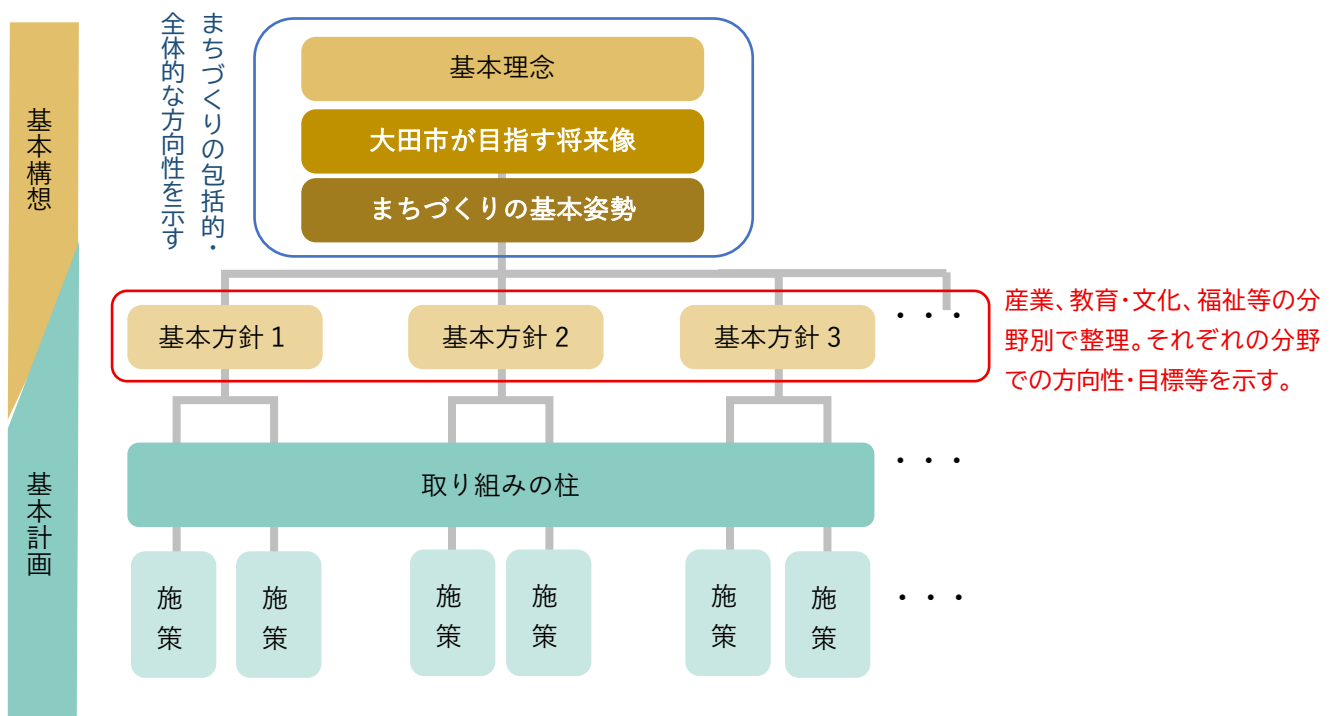
そのため、本計画では、使命や目指す姿は基本理念・将来像・基本姿勢で示し、政策分野ごとの具体的な目標や方向性は基本方針で整理するという階層構造を明確にします。人口減少対策などは総合戦略の重点目標として示し、各分野における具体的な取組や配慮すべき視点については基本方針の中で整理するなど、それぞれの内容を最も適した層で位置づけることで、計画全体を体系的に示していきます。

## (3) 基本方針について（政策分野ごとの目標・目指す姿）

基本方針は、基本理念・将来像・基本姿勢で示した方向性を具体化するものであり、政策分野ごとに目標や目指す姿を整理する層にあたります。

まちづくりは、産業、教育・文化、くらし、都市基盤、自然環境、地域づくりなど、さまざまな分野で構成されています。それぞれの分野において、どのような状態を目指すのか、どのような方向で取組を進めていくのかを示すのが基本方針です。個別の施策や具体的な取組内容については、この基本方針の下で整理されることになります。

このように、上位の理念・将来像と、分野別の基本方針とを階層的に整理することで、計画全体の構造を明確にし、それぞれの役割を分かりやすく示していきます。



## 2. 基本理念の検討

### 基本理念（WHY：なぜ、大田市はまちづくりを行うのか）

#### （1）事務局案

#### ここが“しあわせ”　ここで“しあわせ”

わたしたちが目指すのは、誰もが心穏やかに、そして自分らしくくらするまちづくりです。

たとえ社会や地域の“かたち”が変わる時代であっても、それぞれの歩幅で日々を重ね、支え合いの中に安心を感じられること。一人ひとりの生活が守られ、日々のくらしに誇りを持てる「ここが幸せ」と言える姿を、私たちは丁寧に紡ぎます。

その基盤となるのは、豊かな自然や先人から引き継がれた歴史、そして今を生きる人々の温かな営みです。この土地で生き、人と出会い、記憶に触れる。そのかけがえのない連なりが「ここで仕合せ」という確かな縁を結びます。

このまちに息づく「しあわせ」を分かち合い、いつの時代も変わらず、大切に守り伝えていくまちづくりを進めます。

#### （2）事務局案に込めた想い

- ・人口減少や社会環境の変化が進む中であっても、まちづくりの根本には、一人ひとりが心穏やかに、自分らしくくらすることを置くべきであると考えました。
- ・「ここがしあわせ」という言葉には、誰かに強さや特別な役割を求めるのではなく、それぞれの歩幅でくらしを重ね、支え合いの中に安心を感じながら、一人ひとりの生活が守られ、日々のくらしに誇りを持てる状態を、大田市のまちづくりの使命として表したいという思いを込めました。
- ・そのうえで、大田市のしあわせは、個人のくらしだけで成り立つものではなく、豊かな自然、受け継がれてきた歴史、そして今を生きる人々の営みに支えられていることを示す必要があると考えました。
- ・「ここでしあわせ」という言葉には、この土地で生き、人と出会い、記憶に触れることの積み重ねに、大田市でくらす意味や縁があることを表したいという思いを込めました。
- ・「ここがしあわせ」で目指すくらしの姿を示し、「ここでしあわせ」でそのくらしを支える土地とのつながりや背景を示すことで、大田市に息づくしあわせを分かち合い、これから先も大切に守り伝えていくことを、まちづくりの基本理念として表現しました。

### 3. 将来像の検討

将来像 (WHAT: この計画で何を実現しようとするのか)

#### (1) 事務局案

#### 夢を育み、明日を拓く。みんなの笑顔があふれるまち おおだ

大田の未来を創り出すのは、このまちに生きる「人」の力です。

子どもたちが、この地の宝である自然や歴史に触れ、自らの可能性を信じて「夢を育む」こと。そして、次世代を担う若者が、このまちに生きることに誇りを持ち、自らの未来を描ける土壌を創ることが、すべての出発点となります。

時代の変化を捉え、自らの手で「明日を拓く」強い意志を持って歩を進めなければなりません。大田ならではの資源を磨き、新たな生業（なりわい）を興していくことで、このまちに確かな活力を生み出します。

日々の暮らしを共に支え、誰もが自分らしく、それぞれの歩幅で歩める日常を分かち合う。その確かな積み重ねを、このまちの豊かさとして次世代へ手渡していくことで、その先に広がる「みんなの笑顔があふれるまち おおだ」の実現を目指します。

#### (2) 事務局案に込めた想い

- ・大田市の未来を築く原動力は、このまちに生きる「人」の力そのものであるという認識のもと、とりわけ次代を担う子どもや若者の育ちと挑戦が重要であると考えました。
- ・「夢を育む」ためには、子どもたちが大田市の自然や歴史に触れ、自分の可能性を信じられる環境を整えること、若者がこの大田市に誇りを持ち、大田市で自らの未来を描けるような土壌を創ることが第一だと考えました。
- ・そのうえで、「明日を拓く」ためには、時代の変化を的確に捉え、大田ならではの資源を磨き直すことで、自らの手で新たな「生業（なりわい）」や「確かな活力」を生み出していく強い意志が必要だと考えました。
- ・将来像が目指すものは、誰もが自分らしく、それぞれの歩幅で歩める「日常」を共に支え合い、その確かな豊かさを次世代へ「手渡していく」ことで、すべての市民の「笑顔があふれる大田市」を実現することです。

## 4. 基本姿勢の検討

基本姿勢（HOW：その実現に向けて、どのような姿勢でまちづくりを進めるのか）

### （1）事務局案

#### 共 創

目指す将来像の実現に向けて、私たちは「共に創る」姿勢を大切にします。

こどもから高齢者まで、年齢や性別、国籍などを問わず、多様な人々が一緒に夢を語り合いながらアイデアを出し合う。市民、事業者、行政、そして大田市に関わるすべての人たちが対等なパートナーとして、新しい価値を創り出すことが不可欠です。

互いに知恵を出し合い、一緒に手を動かしながら、一つずつ具体的な形にしていく。そんな「共創」を、これからもまちづくりの基本姿勢とします。

#### 共創のあり方～共に創るまちづくりの目指すべき方向～

- ①「誰もが役割を分かち合い、支えあう」共助の地域社会を育む
- ②「誰一人取り残されない」包摂的なまちづくりを進める
- ③多様な立場や声を尊重し、「安心」と「活躍」の場を創り出す
- ④市民・地域・行政が「信頼」で結ばれた対等なパートナーとなる
- ⑤地域資源を研ぎ澄まし、創意工夫で、自立的に課題を解決する「自立の力」を育む

### （2）事務局案に込めた想い

- ・「共創」は、第2次総合計画から大田市が大切にしてきた基本姿勢であり、市民・事業者・行政、そして大田市に関わるすべての人たちが、対等なパートナーとしてまちの未来をともに形にしていく考え方であることから、今回も引き続き基本姿勢として位置づけることが重要であると考えました。
- ・目指す将来像の実現に向けては、行政だけがまちづくりを担うのではなく、こどもから高齢者まで、年齢や性別、国籍などを問わず、多様な人々が関わり、それぞれの立場から夢を語り合い、知恵を出し合いながら、新しい価値を創り出していくことが必要であると考えました。
- ・その際に大切なのは、「誰もが役割を分かち合い、支え合う」こと、「誰一人取り残されない」こと、多様な立場や声が尊重され、「安心」と「活躍」の場があることなど、共に創るまちづくりのあり方を明確に示し、共有することが必要だと考えました。
- ・さらに、地域資源を活かし、創意工夫によって課題を解決する自立的な力と市民一人ひとりの自助の意識を育むことによって、人口減少や地域課題が進む中であっても、地域のくらしや機能を支え、将来像の実現へとつなげていくことを、この基本姿勢に込めました。